

【佳作】

在りし日

先日死んだ犬は、二日経ってもわたしの夢に出
てはこなかった。

秋の鋭い今日は風が少し冷たい。落ち葉の音。
生きている。

真つ青な空のなかを漂ってしまおうかと呼吸を
した、午後。そうすればだれかに会えるような気
がした。けれど青を泳ぐ手は、雲すらも掴めなく
てひらひら、ひそひそ、甘ったるい金木犀の香り
を連れてくるだけ。曇り空は先を見通せない未来
そのもので、私たちはそれをただ、享受して生き
ている。

乾いた空気を飲み干して、その辛辣さに時折流
れる涙が塩辛いのはあなたしか知りません。

からからの空気を吸うと、悲しみの渦の中にい
る気分になるね。でも、それでよかった。

「それでも」。生きていたいと、声を荒げて。涙
の合間を通り風が埋めていく。力なくからだを抱
きしめる。

そうやって生きていくんだね。心の隅を風が確
かに、撫でた。

コメント

悲しさ、嬉しさなど私たちは日々色々な感情を抱き
ながら生きています。それが煩わしいと感じる時もある
けれど、それで良かったと思う時もあります。いつかは
記憶の隅に追いやられてしまうその時その時感じたい
ことも悪いことも、大切にしていきたいなと強く思
います。

外国語学部 英語英文学科2年 菊池 暖